

第2学年 生活科学習指導案

- 1 日 時 令和4年11月11日(金) 第5校時
- 2 場 所 2年生教室
- 3 学 年 第2学年 男子2名 女子6名 計8名
- 4 単元名 「ためしてガッテンつくってワクワクおもちゃランドにとびだそう！」
- 5 単元について

○児童観

本学級の児童は、物を使った遊びへの興味・関心が高い。物作りが好きで、図画工作科「みんなでわいわい紙けん玉」の単元では、身近にある材料を使って紙けん玉を作る活動に積極的に取り組んでいた。また、国語科の「あったらいいなこんなもの」の単元では、自由に発想しながら「雲をとれる網」や「流れ星を止めてくれる杖」等自分があったらいいなと思うものを楽しく書いていた。

本学級の児童に、アンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。(回答した児童数：7名)

		よくあてはまる	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない
		2学期			
1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。	2	4	1	0
2	友達や地域の人が悩んでいたら助けてあげたいと思います。	3	2	2	0
3	「たぶんこうではないか」「こうすればできるのではないか」と考えています。	4	2	1	0
4	課題を解くために、進んで本を探したりインタビューをしたりしています。	0	5	2	0
5	調べる前に、どんな方法で調べるといいか考えています。	4	2	1	0
6	相手のことを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしています。	2	3	2	0
7	調べたことや考えたことなどを、図などにまとめています。	2	5	0	0
8	調べたことや友達の意見を比べたり、仲間分けしたりして何が分かるのかを考えています。	1	6	0	0
9	友達と話し合うなどして、新しい考えに気付くことができています。	4	2	1	0
10	自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。	2	5	0	0
11	自分の考えを進んで伝えています。	3	3	1	0
12	みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。	1	4	2	0
13	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」や「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	2	4	1	0
14	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	0	7	0	0
☆	自分の住んでいる地域のことが好きです。	3	2	1	0
課題発見力	自分の周りから不思議を見つけられています。	3	2	2	0
課題解決力	自分の考えをもって表現しています。	1	5	2	0
振り返り力	できたこと、分かったことを振り返っています。	4	2	1	0

アンケート結果から、2「友達や地域の人が悩んでいたら助けてあげたいと思います。」・4「課題

を解くために、進んで本を探したりインタビューをしたりしています。」・6「相手のことを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしています。」12「みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。」の項目では、「ややあてはまる」と答えた児童が2人ずついることが分かる。2「友達や地域の人が悩んでいたら助けてあげたいと思います。」については、1学期間の活動で地域の方と関わる機会があまり得られなかったことが要因と考えられる。また、4「課題を解くために、進んで本を探したりインタビューをしたりしています。」・6「相手のことを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりしています。」については、課題にあった本を見つけることが難しく、タブレットを使って調べ学習をすることが多かったことや、分かったことを他者に伝える手段をあまり知らないこと、相手に伝わる表現の仕方がよく分からないことが要因と考えられる。12「みんなと話し合う時、みんなが納得のいく考えをつくらうとしています。」については、1学期に話し合い活動を多く進める中で、お互いの意見が食い違ったり、全員が納得できるまで話し合いをとことん続けたりすることで、話し合いによって意見をまとめる困難さを実感したことが「ややあてはまる」の回答に繋がったと考えられる。

一方で、7「調べたことや考えたことなどを、図などにまとめています。」・10「自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。」・14「学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。」の項目では、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた児童が多かった。このことから、1学期の学習を通して、観察シート等に、調べたことを書いて整理する力が付いてきたことが分かる。また、「もっと知りたいこと」や「もっと工夫したいこと」等の視点を与えて振り返りシートを活用することにより、振り返りへの意識が高まっていることが分かる。

これらの実態から、設計図を作るときに完成形を想像できるような手立てや、自分の意見に自信がもてるようにするような手立てをすることが必要であると考えられる。また、本単元において、児童がまとめ・表現する機会を大切にしつつ、指導者が表現の型を提示したり、話し合いの中で合意形成の仕方を伝えたりすることも必要であると考えられる。

○単元観

本単元は、学習指導要領の内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりする等して遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。」を受けて設定したものである。内容構成としては、「カ 情報と交流」「ケ 遊びの工夫」の視点を踏まえて構成している。

身の回りの物(紙コップ)を使ったおもちゃで遊ぶ中で、おもちゃ作りへの意欲を高めるとともに、おもちゃの動き方や仕組みの特徴に気付く機会を得ることができる(課題発見力)。また、おもちゃ作りをする上で気付いたことや困っていることを交流することで、友達の意見を聞き、試行錯誤しながらどうしたらよいおもちゃになるかを考えられる(課題解決力)。

さらに、毎時間活動に対する振り返りを行うことで、この時間にできるようになったことは何かを自己評価したり、友達の良さに気付く等相互評価したりしながら(振り返り力)、次時の活動に何をするのか見通しをもって活動をすすめていくことができる。

○指導観

指導に当たっては、自己決定ができる場の充実と、おもちゃに関する話し合いを取り入れていく。これは、児童が自身の思いや願いをもち、他者と協力しながらおもちゃを作成することで、主体的・対話的で深い学びを実現することをねらいとしている。

第一次では、児童のおもちゃ作りの経験を聞いたり、身の回りの物(紙コップ)を使って遊んだり、紙コップを使ったおもちゃで遊んだりする時間を設ける。ここでは、たくさん紙コップを使って遊ぶ中で、素材の特徴を知り、おもちゃ作りへの意欲を高めるとともに、おもちゃの動き方や仕組みを体験し

ながら理解できるようにしたい。

第二次では、どんなおもちゃを作りたいか決め、設計図を作り、まずは自分で作成させる。その際、おもちゃの手本を何種類か用意しておき、完成のイメージがもてるようにする。また、事前におもちゃについて描かれた資料を数種類教室に置いておき、いつでも作りたいおもちゃを調べることができるようにしておく。ここでは、児童が自分の力で説明や見本を見ながら作成する中で出てくるであろう「困ったこと」や「分からないこと」を大切に拾い上げ、児童の意見を聞きながら、必要に応じてペアやグループで相談する時間を設けたい。

第三次では、どうしたらよりよいおもちゃになるか考え、改善させていく。おもちゃ作りをする上で気付いたことや困っていることを交流し、友達の意見を聞きながらおもちゃを改善していく時間を設ける。交流する際、同じ動力のおもちゃを作る児童どうしで集まって意見を交流したり、設計図を見せ合っていて良いところや改善策を伝え合ったりすることも考えられる。

第四次、第五次では、話し合ったことを基に再度おもちゃ作りを行い、おもちゃで遊ぶ時間を設ける。遊ぶ時間や場、相手等に関しては、児童の意見を基に決めていきたい。最後に、学習を通して、できるようになったことや成功したこと等を振り返り、交流させたい。

全体を通して、毎時間活動に対する振り返りを行っていく。振り返りの時には視点を与え、したことだけを振り返るのではなく、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」を考えられるような振り返りとなるようにしていきたい。

課題発見力	身近な材料を使ったおもちゃを題材とし、材料の特徴に目を向けさせる。
課題解決力	おもちゃを改良する案を考え、交流をし、協働的に解決させる。
振り返り力	視点を決めて振り返りを行ったり、ルーブリック評価を取り入れたりする。

6 単元の目標

○身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりする等して遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができその面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができる。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	自分のまわりから不思議を見つけている。
課題解決力	自分の考えをもって表現している。
振り返り力	できたこと、わかったことを振り返っている。

8 単元の評価規準

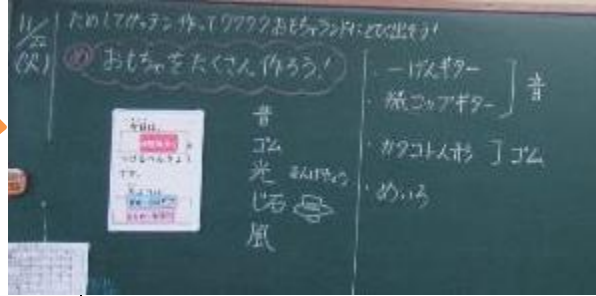
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校で付けた資質・能力		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある物を使って遊ぶ中で、素材の特徴や動きの面白さに気付いている。 ・動くおもちゃについて、動きの面白さや不思議さ、遊びに使う物を作る面白さに気づき、みんなで遊んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある物を利用したおもちゃや遊び自体を、試行錯誤を繰り返しながら工夫して作っている。 ・相手が理解できるようにおもちゃの仕組みや遊び方の説明をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなおもちゃを作りたいか思いや願いをもって粘り強く活動に取り組もうとしている。 ・おもちゃランドに向けて、友達との繋がりを大切にし、よりよい遊びや遊び方を作り出そうとしている。 ・おもちゃを作り遊ぶ中で成功したことやできるようになったことを振り返ろうとしている。

【小単元の目標】工夫しておもちゃを作ろう。
 試行錯誤しながら工夫しておもちゃをつくることができるようにする。

○作りたいおもちゃを考える。①

思い：早く作ってみたいな。
 どんなおもちゃにしようかな。

音 ゴム 光
 磁石 風 の力
 を使って、紙コ
 ップおもちゃが
 作れそう！



○おもちゃを作る。③

思い：たくさん作ってみんなと遊びたいな。
 いろいろ試してみよう。



国語科「おもちゃの作り方をせつめいしよう」の単元と関連付けて、作ったおもちゃの遊び方の説明を画用紙に書いて準備した。

【主】 どんなおもちゃを作りたいか思いや願いをもって活動に取り組んでいる。（発言・設計図）

【技】 動くおもちゃを作ることについて、友達の間でおもちゃの動きの面白さや不思議さに気づき、みんなで遊んでいる。（課題発見力）（発言・振り返り）

【思】 比べたり、試したり、見立てたりしながら、工夫しておもちゃを作っている。（発言・振り返り）

【主】 思いや願いをもって、粘り強く遊びを創り出そうとしている。（発言・振り返り）

【小単元の目標】よりよいおもちゃを作ろう。
 試行錯誤しながらよりよいおもちゃを作ることができるようにする。

○おもちゃ作りをする中で気付いたことを交流し、よりよいおもちゃを作る。③

【思】おもちゃを改良したり、遊び方やルール等を考えたりして、よりよい遊びを工夫している。（課題解決力）（発言・振り返り）

思い：作るのが難しくて困っている。
 うまくいかないな。どうしたらいいんだろう。みんなに相談したいな。
 ☆立ち止まりポイント



三
三
時
間
十一月

三弦ギター。
 これは、一人ではできないんだな。ちょっと手伝って。

キリで あなを 空けるのにも **チャレンジ!!**

やった! 風で うごいたよ! やってみて!

ぼくたち わたしたちは、とにかく たくさん 作らなくちゃ! だんだん 作るのにも なれてきたよ!

リモートで さんかしている 友だちも、おうちで 作ってみたい! **ナイス チャレンジ!**





<5年生の感想>

- とっても楽しかった。
- 楽しい遊びがいっぱい。一生懸命作ったんだなと思った。
- 一つ一つの細かい説明があったり、遊んだ後の景品も作っていてうれしかったしすごいと思った。
- たくさんのおもちゃがあって、遊べないおもちゃもあった。楽しいものや面白いものを作っていてすごいと思った。
- 一つ一つ工夫して作っていてよかった。
- 見本を見せてくれて、遊び方が分かりやすかった。

【小単元の目標】おもちゃ作りをふりかえろう。

これまでのおもちゃ作りを振り返り、できるようになったことに気付くことができるようにする。

○おもちゃ作りを振り返る。①

思い：はじめは上手くできなかったけど、丈夫で楽しいおもちゃを作ることができたよ。

①もっとこうしたらいい
おもちゃについて
このぼうをどうやってつかうか、いっぱいいじると
かきかたからそうしてつかうか、かきかたをくわしくわ
明瞭にはよからたて、ゴムをひらいたり、
してたからたれかたなん点当したか分からな
かたうち、とちんとやかわら、んたんしとよは
かたびとまともあるさ、りかたよからたか
ももうすしこのころいひ、りししようと思は
えはよからた

【主】おもちゃを作り遊ぶ中で成功したことやできるようになったことを振り返ろうとしている。(振り返り力) (発言・振り返り)

5年生から質問されたことで、よく伝わらなかったのだと判断し、くわしく説明すればよかったと振り返っている。

五二時間 十二月

おもちゃ祭りをした場所について、おもちゃに合った場所がよかったと振り返っている。

また、それぞれが分担して説明していたため、全員が5年生に聞こえる声で、説明できてよかったと振り返っている。

①もっとこうしたらいいと思、たことは、
よかすおは、けで、あたるにあたが、あいて
りか見る。
②工場して、まどあての工場よが、いいと思、
た。わけは、ゴムが、たれにもあたら
ない工場、りやてりてよかた。
③もっとこうしたら、いいと思、たことは、いろん
なおもちゃで、ちゃんと音やとられて、りか見て
こわれて、りかおもちゃは、直して、まて、きたか
や、て見、た、す。
④せつ明で、せ、んいんのグループが、せつ
明で、ぼん、ど、大きな声で、せつ明をし
り言、て、りた、のがよかた。

よかたところは、おもちゃを、えか、あて、
あそびで、くれた、り、楽し、そうに、や、て、く
れてよかた、あ、り、わけは、あ、たりか
で、た、り、や、た、と、言、て、くれ、た、から、て、あ、
よろこんで、もら、えて、よか、た、て、あ、
せつ明、か、で、き、た、か、た、の、で、も、と、せつ明、を
で、き、る、よ、う、に、な、り、た、い、て、す、
けい、ひ、ん、も、自、分、で、わ、た、せ、れ、る、よ、う、に
な、り、た、い、て、す、

教室ではとてもおとなしい児童であるが、5年生が笑顔で遊んでくれたことを素直に喜んでいる。
「景品も自分でわたせるようになりたい」と次は勇気を出してやろうという前向きな気持ちが表われている。

11 本時の学習

(1) 本時の目標

身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、素材の特徴や動きの面白さに気付くことができる。

(2) 本時の評価規準

身近にある物を使って遊ぶ活動を通して、素材の特徴や動きの面白さに気付いている。

(3) 準備物

〔指導者〕 児童の身近にある物（紙コップ）、ガムテープ、セロテープ、タコ糸、キリ、穴あけパンチ、割り箸

〔児童〕 たんけんバッグ、ワークシート、はさみ

(4) 学習の展開 (2/12時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◆支援を要する児童への配慮)	評価規準 (評価方法)
1 本時の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物を使って遊ぶことを確認する。 装飾等は付けずに遊ぶことを伝える。 	
紙コップでどんなあそび方ができるかな。		
<p>2 身近な物を使って遊んでみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 転がすと、真っ直ぐ進まないね。斜めに進むよ。 口の部分を下にして積むと、しっかり立つね。 投げてもボールみたいに飛ばないよ。横向きで投げるより、縦向きで投げる方が飛ぶね。 並べると道みたいになるよ。 叩くと、ポコポコ音がするね。 	<ul style="list-style-type: none"> 転がす、重ねる（積む）、投げる、並べる、叩く等のやり方で実際に遊ぶことで、素材の特徴に気付けるようにする。 遊びの内容や遊びをするときに気付いたことは何か等をワークシートに書かせ、遊びの楽しさだけでなく、素材の特徴に意識を向けられるようにする。 	
<p>3 気付いたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙コップを2つくっつけて転がすと、1つのときより真っ直ぐ転がったよ。 2つコップを重ねると、1つのときより丈夫になるね。 セロテープよりもガムテープの方がよくくっつくよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が遊んでいて気付いたことや、友達が遊んでいるのを見て気付いたことを発表させる。 ◆はじめは少人数グループで意見を発表し、その後全体で発表することで、全体の前で意見を発表することが難しい児童も意見を伝えられるようにする。 	
<p>4 交流したことを踏まえて遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇さんの遊びを真似してみよう。 丈夫にするためにはどうしたらいいのかな。 セロテープじゃなくて、ガムテープを使ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の意見を参考にして再度遊ばせる。 ◆遊びやすさや面白さ等を、ワークシートを使って5段階で評価できるようにすることで、文字を書くことが難しい児童も意見を表現できるようにする。 	<p>○身近にある物を使って遊ぶ中で、素材の特徴や動きの面白さに気付いている。 (発言・振り返り)</p>

<p>5 自分が考えた遊び方を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> •ぼくは紙コップを積んでタワーを作りました。大きい口の方を下にすると積みやすかったです。 •わたしは紙コップで風車を作りました。口のところを切るのが難しかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> •遊び方を発表させる。 ◆実際に遊んで見せてもいいことを伝え、どんな仕組みや遊び方なのか説明しにくい児童も発表できるようにする。 	
<p>6 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> •本時の学習を振り返らせ、次時に期待をもたせる。 •ループリックを踏まえた振り返りにさせる。 	

12 板書計画

11/11 ためしてガッテンつくってワクワクおもちゃランドにとびだそう！

め

紙コップでどんなあそび方ができるかな。

やってみよう！

気づき

A	B	C
相手が楽しんでくれるおもちゃを考えて作り、おもちゃやあそび方のくふうをせつ明したり、友達のおもちゃのくふうを見つたりすることができる。	相手が楽しんでくれるおもちゃを考えて作り、友達のおもちゃのくふうを見つたりすることができる。	相手が楽しんでくれるおもちゃを考えて作ることができない。

ころがす

まっすぐすすまない
2つつなげる→1つよりまっすぐすすむ

かさねる (つむ)

口が広い方が下→つみやすい
かさねた方がじょうぶ

なげる

あまりとばない
そこを前にしてとばすとよくとぶ

ならべる

道ができる (歩けそう) , ならべるのがかんたん, ぴったりつなげられない

たたく

ポコポコ音がする
重ねると音が変わる

ふ